

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~6日	10月 ~13日	10月 ~20日	10月 ~27日	11月 ~3日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	157	23	21	6	12	7
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	85	11	14	8	12 (13)	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	1	1	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	18	2	2	1	2 (4)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	15	3	3	0	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	15	2	4	2	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	4	0	1	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和元年第44週(10月28日~11月3日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	12	結核	12					4	1	7
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1		1
四類	7	つつが虫病	1					1		
		日本紅斑熱	3			2			1	
		レジオネラ症	3					2	1	
五類全数	13	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2				1	1		
		梅毒	3			2				1
		破傷風	1							1
		百日咳	5		2		1	1		1
		風しん	1			1				

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島市, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

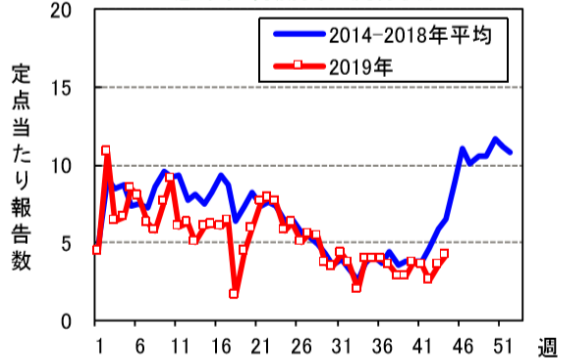
1. 感染性胃腸炎

定点当たり4.13人と、前週と比べてやや増加しました。
 例年11月頃からノロウイルスによる感染性胃腸炎が増加するため、保育園や幼稚園、福祉施設などの集団生活の場では特に注意が必要です。
 手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

25人(定点当たり0.68人、迅速診断キット:A型陽性23人、B型陽性2人)の報告がありました。また、10月31日には、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました(安佐南区の中学校)。
 健康管理に注意し、流行前のワクチン接種、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を徹底しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



【参考】感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
													増減	微増減	
インフルン	インフルエンザ	25	0.68	0.23		⇒	小児科 流行性耳下腺炎	-	-	0.64			↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	7	0.29	0.29			RSウイルス感染症	19	0.79	0.79		↘		↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	2.31		↘	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03					前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	99	4.13	6.48		↘	流行性角結膜炎	3	0.38	0.75					ほとんど増減なし
	水痘	11	0.46	0.52			細菌性髄膜炎	-	-	-					
	手足口病	16	0.67	1.28		↘	無菌性髄膜炎	-	-	-					
	伝染性紅斑	13	0.54	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29					
	突発性発しん	8	0.33	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	ヘルパンギーナ	6	0.25	0.20			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-					

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	135	男性(40歳代)、男性(50歳代)、女性(80歳代)、女性(90歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	男性(10歳未満)・O157
4	つつが虫病	1	2	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	2	26	男性(50歳代)、男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	24	男性(70歳代)
5	百日咳	1	76	男性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(38.7) 上気道炎 リンパ節腫脹	8	女	2019/09/26	咽頭拭い液	ライノウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(40.0) 髄膜炎	5	男	2019/09/24	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	上気道炎	0	女	2019/09/06	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	0	男	2019/09/14	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 上気道炎	0	男	2019/09/18	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 下気道炎	2	女	2019/09/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.4) 下痢 熱性痙攣	0	男	2019/09/15	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載